

弘前大学北日本新エネルギー研究所とみちのく銀行 新エネルギー分野における連携・協力に関する協定を締結

北日本新エネルギー研究所は、平成29年7月20日（木）に青森市内のみちのく銀行本店にて、両者が保有する研究シーズや企業ニーズに関する情報、ノウハウ等を用いて相互に連携・協力し、青森県を中心とした地域において、新エネルギーによる地方創生に寄与することを目的として、みちのく銀行と新エネルギー分野における連携・協力に係る協定を締結しました。

締結式では、みちのく銀行高田邦洋頭取から「再生可能エネルギー事業の普及により、地球温暖化防止対策はもとより、地域資源の有効活用、関連産業育成、雇用創出等の波及効果をしっかりと地域経済に還元できるように、我々のネットワークやノウハウを用いて新しいビジネスモデルの事業化と支援につなげていきたい」と挨拶がありました。引き続き、北日本新エネルギー研究所村岡洋文所長から「新エネルギーは維持コストは少ないが、開発初期コストが非常に大きい。本連携協定により、『環境金融』のトップランナーであるみちのく銀行と緊密に協力し、新エネルギーによる地域産業の創出に貢献したい」と挨拶がありました。

北日本新エネルギー研究所は、地熱や海洋エネルギーなど青森県の有する豊富なエネルギー資源に着目し、地球温暖化対策としてだけでなく、地球温暖化対策を地域産業創出に結びつけることを目指し先進的な研究を進めており、本協定の締結により、北日本新エネルギー研究所の有する知見とみちのく銀行の金融ノウハウを結び付けることによって、新エネルギーによる青森県の地方創生を推進するものと考えています。



（協定書を手にする新エネ研村岡所長（左）とみちのく銀行高田頭取）



（関係者全員での記念撮影）